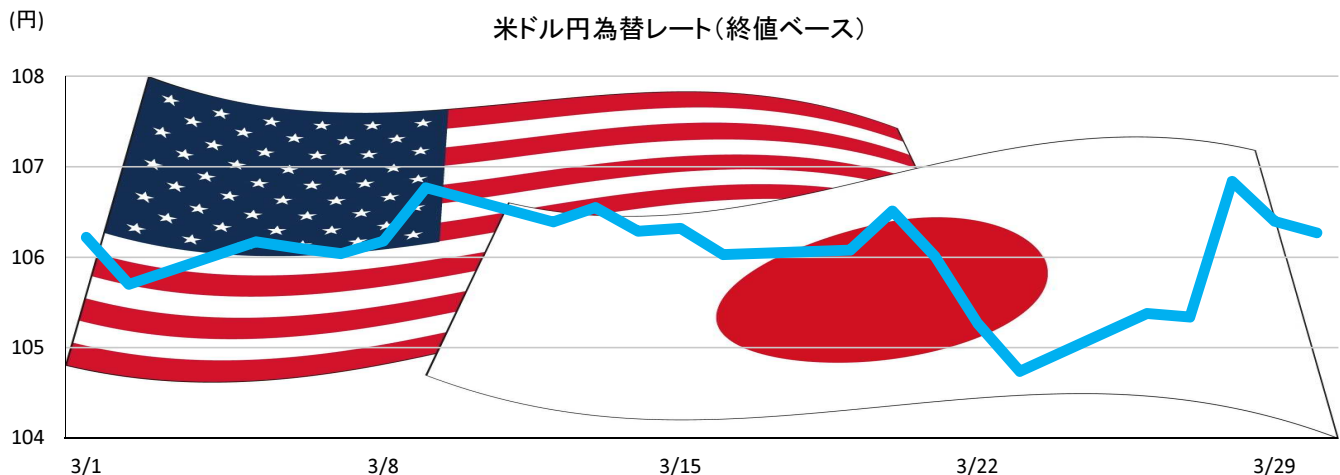


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 3月のドル円相場は、107円前半～104円半ばで推移。月初はトランプ大統領と北朝鮮の金委員長が5月までに会談するという報道や、良好な米雇用統計もあり、ドル買いが進んだ。その後は、米政権運営不安がリスク回避の動きにつながり、徐々にドル売りの流れに変わっていった。そして、くすぶり続けていた貿易戦争懸念が、米国による鉄鋼・アルミニウム輸入制限発動により一気に高まったため、さらにドル売りが加速した。ただ月末に金委員長が中国を訪問したことが伝わり、北朝鮮リスクが後退したことから一転ドル買いとなった。



EXTRA VISION

今後の展開: 今後の動向を見極めるうえで、先月に引き続き北朝鮮リスクと米中貿易戦争懸念の動向がカギとなってくるだろう。直近では米中貿易戦争懸念を材料に楽観論と悲観論が交錯し、マーケットも一進一退の攻防を繰り返している。実際に貿易戦争となってくると経済に与える影響は計り知れず、株式市場においても波乱要因にもなりかねない。米国と中国はともに対話交渉への歩み寄りの可能性を示唆しており、ある程度落ち着いてくると思われるが、どこに妥協点を見出せるかは不透明だ。トランプ流の政治決着があるのかどうかをしっかりと見極めていきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
4 / 26 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
4 / 27 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
5 / 3 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
5 / 4 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
5 / 10 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
5 / 15 (火)	18 : 00	EU	欧州GDP改定値	☆☆☆☆
5 / 16 (水)	8 : 50	JP	日GDP速報値	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。